

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 有坂中央学園
専門学校 中央情報大学校

学校法人有坂中央合学園 学校関係者評価委員会は「令和5年度自己点検・評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を令和6年3月21日に実施しました。各委員から提出された意見をまとめ、下記のとおり報告いたします。

1. 中央情報大学校 学校関係者評価委員

業界関係者：新井 照秋 （日本パソコム株式会社）
業界関係者：猪俣 猛 （株式会社 CRI 中央総研）
業界関係者：小池 正律 （中央キャリアネット株式会社）
業界関係者：松本 州史 （東京理器株式会社）
卒業生：池田 裕樹
保護者：剣持 美香

2. 令和4年度自己点検・評価における学校関係者評価

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組
1. 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ●教育理念を明文化し、周知徹底を図っている。 ●各修業期間における教育目的・目標、教育計画が文書化され、提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業、高校、保護者へのニーズ調査を行い、更なる関係者への情報提供の強化を図る。編成委員からの意見集約も行う。
2. 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の管理・運営体制が確立されている。 ●ISO29993 マネージメントシステムの改善見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ○理事会・評議員会の定期的な開催、各種規定の文書化を継続。スタッフディベロップメントを強化する。 ○職員全員の理解をした上でISOを進めていく。
3. 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ●各学科の教育目標、育人材像に向けたカリキュラム作成などの取り組みがされている。 ●各学科の教育目標、育人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされている。 ●各種イベント実施後の振り返りを重視してもらいたい（松本） 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業シラバスの導入を検討する。また、学生アンケートの結果を授業に反映する。 ○IT リテラシー内部評価テストを職員向けに実施。不足職員には継続的な研修とスキルアップを図る。 ○イベント実施後は、改善事項を取りまとめている。今年度の振り返りは次回の評価委員会で回答したい。
4. 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ●各学科の教育目標、育人材像に向けて教育環境が整備・活用されている。 ●卒業後のキャリア形成の効果を把握するために、卒業生の近況等追跡調査をするべき。 ●情報系学生を中途でも採用していきたいので指導部を絡めて何か仕組化できないか？（小池） 	<ul style="list-style-type: none"> ○より良い教育環境を提供するための改善を継続・推進する ○就職指導センターによる企業への在籍調査を行っているが、改善に繋がる調査量には達していない。 ○OBOG の組織を活発化して新たなコミュニティの創設を考えている。

評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組
5. 学生支援	<p>●各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われている。</p> <p>●インターンシップを取り入れることで新卒社員の離職を軽減することができる。</p> <p>●働く人のスキルを向上させるため、リカレント教育等を専門学校にしていきたい（小池）</p> <p>●校内カウンセラーの所へ学生が自由に行ける環境があるのか？（小池）</p> <p>●退学フォローはどのようなことをしていますか？（松本）</p>	<p>○入学前のオリエンテーション、在学中のキャリアサポート・健康管理・経済支援、卒業生への学校情報・職業紹介等を継続。学生のメンタルヘルスサポート、指導教員への相談サポートを強化する。</p> <p>○情報、デザイン、電気という分野での受入企業の開拓が難しいがマッチングを模索したい。</p> <p>○オンラインでの学習支援等をしていければと思う。</p> <p>○学生自身の申込、担任による申込で実施している。</p> <p>○日常生活の中で学生が出すサインを見逃さないこと。</p>
6. 教育環境	<p>●設備・備品の定期的な管理・点検がされていない。</p> <p>●動画のオンデマンド配信において学生の視聴状況をどう測っているか。</p>	<p>○機材の整備は整ってきたので、オンライン教材を発展させていきたい。</p> <p>○学習状況を確認するため理解度を測る小テストを実施している。</p>
7. 学生の受け入れ募集	<p>●学園祭や卒業制作展など、入学対象者に向けた学校PRブースを設け、対応できれば良い。</p> <p>●不登校学生の学び直しの機会等への対応は？</p>	<p>○イベント時には常勤職員が同行し、質問等には対応している。学校全体を知る職員は少ないため、情報の共有化が必要である。</p> <p>○一から教える授業体制を取っており、学び直しが必要な学生にも対応している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生の募集についてどのように活動しているのか教えてほしい（松本） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主に高校の校内ガイダンス、オープンキャンパス、SNS の発信等。今後は各種講座も増やしていきたい。
8. 教育の内部質保証システム	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立されて改革・改善のためのシステム構築がされている。 ● ここで出た評価を他校との比較として使用してみてはどうか？（猪俣） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己点検・評価の実施、計画の検証、結果公表を継続。 ○ 全国との比較等は行ってない。同一基準で行っていないので比較は難しい。
評価項目	評価	評価に対する今後の学校の取組
9. 財務	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務体質が健全であり、財務運営が適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予算計画策定、財務情報公開、施設設備の保守・管理を継続。図書管理規定を文書化する。
10. 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃やボランティア活動、地域イベントへの参加などを積極的に行っている。コロナ対策により高崎祭りが中止になり、リアルでのボランティア活動が難しい。 ● 地域のことを学校が知らないケースが多く、地元の企業との連携を深めてもらいたい（小池） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の教育資源を十分に活用して、社会貢献・地域貢献を行っている。オンラインボランティアの実施も視野に検討したい。 ○ リカレント講座や学童教室、高校生に自習教室の提供など、地域に還元する取組を行っている。
11. 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル化に対応できる人材育成をどのように行っていくか検討が必要。 ● 電気工事士試験において国家資格取得させたことがすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的技術を習得できるIT・電気・CAD専攻にて資格に裏付けられた技術力を持つ人材を育成する。 ○ 試験はルビ振りの問題を使って実施。2名が第一種電工を取得。更なる資格取得者の増加をめざしたい。

※上記、「評価」の列は学校関係者評価委員による評価を記載。個人での発言があった評価は文末に個人名を記載。評価委員の総意を頂いた評価は、個人名での記載はしていない。

3. 総評

各委員から高い評価を受けた事項としては、イベントが多く活気ある学校のイメージ、教職員の高いモチベーション、各種イベントでの実績、学校の対応内容について意見をいただいた。学校が取り組むべき課題として、社会人ニーズの高まりへの対応、地元企業への就職対策について挙げられた。また、学生募集の観点で募集方法や募集対象生との接点の持ち方についても質問と意見をいただいた。次回の学校関係者評価委員会において、情報系学生の獲得をしたい地元企業との接点を持つために、卒業生のコミュニティ作りについて具体的な仕組み作りを検討してほしいと提言をいただいたので、その提言への回答ができるよう改善を進めたい。有坂中央学園中央情報大学校の教育活動、学校運営は引き続き高い水準で維持されていると評価する。学校評価サイクルの現状は有効に機能しており、このPDCAサイクルを継続することで更なる向上を望む。

以上